



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 カップ・クリエイティブ株式会社
 コード番号 7421 URL <http://www.kappa-create.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小澤 俊治
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼経理部長 (氏名) 小林 元樹 TEL 045-224-7095
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	38,958	△1.4	1,269	106.0	1,409	92.0	1,068	89.5
2019年3月期第2四半期	39,517	△1.5	616	110.6	734	93.0	564	119.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,066百万円 (88.6%) 2019年3月期第2四半期 565百万円 (107.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	21.84	21.84
2019年3月期第2四半期	11.57	11.56

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	31,301	13,419	42.8	271.85
2019年3月期	29,130	11,905	40.8	243.22

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 13,411百万円 2019年3月期 11,873百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 2020年3月期の配当につきましては、現在、未定です。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,385	2.9	1,610	156.0	1,800	136.8	890	526.8	18.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2019年10月31日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー 社 (社名) 、除外 ー 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	49,414,578株	2019年3月期	49,414,578株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	82,048株	2019年3月期	594,148株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	48,939,227株	2019年3月期2Q	48,756,993株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、省力化投資を中心に外国人観光客の富裕層をターゲットにした高級ホテルの建設などもあって、非製造業では高水準の設備投資意欲が伺えました。しかしながら、米中貿易競争の長期化を主な要因に外需が縮小しているため、製造業では生産や出荷が顕著に鈍りました。個人消費につきましても、消費税増税前の駆け込み需要がみられたものの、世界経済が不透明感を増していることもあって、消費者心理は悪化が続いております。

外食産業におきましては、人件費や物流費の上昇、食材価格の高騰のほか、消費者のニーズの多様化やコストパフォーマンス意識の高まりなどのため、厳しい経営環境が続いております。更に、消費税増税後も軽減税率が適用される弁当や総菜の持ち帰りや宅配サービスといった中食との競合の一層の激化もあり、今後も予断を許さない状況にあります。

このような状況の中、当社の主力事業である回転寿司事業におきましては、より魅力的かつ付加価値の高いメニュー・商品の開発・販売を基盤とし、ブランド認知向上も含めた様々なプロモーション活動と店舗オペレーションの一層の強化を通じて既存顧客の満足度向上と新規顧客の獲得に努めたことで既存店昨対比は堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は389億58百万円（前年同四半期比1.4%減）、営業利益は12億69百万円（前年同四半期比106.0%増）、経常利益は14億9百万円（前年同四半期比92.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億68百万円（前年同四半期比89.5%増）となりました。

次に事業の種類別セグメントの概況をご報告申し上げます。

<回転寿司事業>

回転寿司事業におきましては、夏の風物詩・うなぎを蒲焼きと白焼きで用意した「うなぎ食べ比べ」の「夏のごちそう寿司」フェア、かっぱ寿司の新しい食べ方提案・つかんで食べる豪華ネタの「三段つかみ寿司」、秋の味覚先取りの「北海道ネタ ぞくぞく入荷フェア」などを開催し、より希少性や限定感のある商品を提供してまいりました。

さらに幅広い目的でかっぱ寿司を利用していただきたいという思いから多様化するお客様の嗜好にお応えすべくサイドメニューの強化にも継続して取り組み、本格ラーメンシリーズ第7弾「吉祥寺 武蔵家監修 家系ラーメン」は、発売からわずか6日間で10万食を突破する史上最速記録を更新するなどSNSでも話題沸騰中の人気商品となっております。

また、決済方法の多様化・キャッシュレス化への対応の一環としてスマホ決済サービス「d払い」・「LINE Pay」を全店舗にて導入し、国内のキャッシュレス化への対応とその需要にお応えし、今後も快適なお食事をしていただける環境整備に積極的に取り組んでまいります。

店舗オペレーションの観点におきましては、引き続き商品・サービスのクオリティ向上を最優先としながら商品提供時間やウェイティング・タイムの短縮に向けた活動を強化し、不満足要因の排除とお客様満足度の持続的な向上に継続して取り組んでまいりました。

以上の結果、回転寿司事業の売上高は328億75百万円（前年同四半期比0.5%減）となりました。

<デリカ事業>

デリカ事業におきましては、コンビニエンスストアを中心とした寿司弁当・調理パン等に関し、既存顧客における取扱商品の拡充、新規取引先の発掘など販売強化に取り組むと共に各拠点間での生産移管等を通じて生産能力の充実と効率化を図っております。

以上の結果、デリカ事業の売上高は60億82百万円（前年同四半期比6.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結累計期間における総資産は313億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億71百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が21億73百万円増加、売掛金が19百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結累計期間における総負債は178億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億57百万円増加いたしました。これは主に買掛金が3億27百万円減少、1年内返済予定の長期借入金が4億円減少、未払費用が50百万円減少、社債及び1年内償還予定の社債が14億45百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結累計期間における純資産は134億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億14百万円増加いたしました。これは主に配当金の支払2億44百万円による減少、親会社株主に帰属する四半期純利益10億68百万円により利益剰余金が増加、新株予約権の行使・失効により自己株式が4億80百万円減少及び資本剰余金が2億33百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想について、売上高につきましては、既存店昨対比は堅調に推移しているものの、長梅雨や台風等による天候不良の影響や消費税増税による消費動向の変化を勘案し、前回発表予想を据え置くことといたしました。利益面につきましては、品質・サービスの向上に向けた店舗オペレーションの改善による生産性の向上と廃棄ロスの削減などの取り組みの成果が当初の計画を上回る見込みとなるなど、コスト構造の改善効果が得られた事から通期業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日(2019年10月31日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,083	7,257
売掛金	2,357	2,337
商品及び製品	341	383
原材料及び貯蔵品	330	321
その他	1,750	1,164
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	9,863	11,463
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	27,615	27,741
機械装置及び運搬具	4,578	4,920
工具、器具及び備品	5,073	5,743
土地	2,365	2,365
リース資産	2,129	1,929
建設仮勘定	6	39
減価償却累計額	△29,812	△29,985
有形固定資産合計	11,957	12,755
無形固定資産	404	399
投資その他の資産		
投資有価証券	851	849
敷金及び保証金	5,177	4,988
繰延税金資産	486	486
その他	330	272
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	6,836	6,587
固定資産合計	19,198	19,742
繰延資産		
社債発行費	68	95
繰延資産合計	68	95
資産合計	29,130	31,301

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,499	3,172
短期借入金	99	99
1年内返済予定の長期借入金	800	400
1年内償還予定の社債	1,110	1,490
未払金	1,981	1,784
未払費用	1,653	1,602
リース債務	278	207
未払法人税等	425	464
賞与引当金	149	230
株主優待引当金	114	111
店舗閉鎖損失引当金	17	31
その他	786	1,013
流動負債合計	10,916	10,608
固定負債		
社債	2,685	3,750
長期未払金	1,700	1,713
リース債務	359	263
資産除去債務	1,397	1,403
その他	164	143
固定負債合計	6,307	7,273
負債合計	17,224	17,881
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,800	9,800
資本剰余金	2,293	2,527
利益剰余金	343	1,168
自己株式	△557	△77
株主資本合計	11,879	13,418
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5	△7
その他の包括利益累計額合計	△5	△7
新株予約権	23	—
非支配株主持分	8	8
純資産合計	11,905	13,419
負債純資産合計	29,130	31,301

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	39,517	38,958
売上原価	19,359	18,359
売上総利益	20,157	20,598
販売費及び一般管理費	19,541	19,329
営業利益	616	1,269
営業外収益		
受取利息	26	23
受取配当金	36	35
受取家賃	110	124
自動販売機収入	29	24
協賛金収入	12	82
雑収入	50	15
営業外収益合計	265	305
営業外費用		
支払利息	22	16
社債利息	18	14
賃貸収入原価	92	111
雑損失	14	23
営業外費用合計	147	165
経常利益	734	1,409
特別利益		
固定資産売却益	4	1
新株予約権戻入益	—	14
特別利益合計	4	15
特別損失		
固定資産除却損	46	78
店舗閉鎖損失引当金繰入額	11	15
特別損失合計	57	93
税金等調整前四半期純利益	680	1,331
法人税、住民税及び事業税	116	262
法人税等合計	116	262
四半期純利益	564	1,068
親会社株主に帰属する四半期純利益	564	1,068

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	564	1,068
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△2
その他の包括利益合計	1	△2
四半期包括利益	565	1,066
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	565	1,067
非支配株主に係る包括利益	—	△0

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	680	1,331
減価償却費	806	897
賞与引当金の増減額（△は減少）	31	80
店舗閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	△18	14
受取利息及び受取配当金	△63	△58
支払利息及び社債利息	41	31
固定資産除却損	46	78
売上債権の増減額（△は増加）	100	19
たな卸資産の増減額（△は増加）	△49	△32
仕入債務の増減額（△は減少）	△478	△327
未払金の増減額（△は減少）	89	△19
未払費用の増減額（△は減少）	△97	△50
未収消費税等の増減額（△は増加）	312	△2
未払消費税等の増減額（△は減少）	49	167
その他	595	820
小計	2,046	2,951
利息及び配当金の受取額	40	58
利息の支払額	△40	△33
法人税等の支払額	△226	△252
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,820	2,724
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△328	△1,524
無形固定資産の取得による支出	△100	△19
敷金及び保証金の差入による支出	△1	△13
敷金及び保証金の回収による収入	59	20
その他	△0	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△371	△1,545
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△416	△400
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△218	△157
社債の発行による収入	—	1,962
社債の償還による支出	△555	△555
割賦債務の返済による支出	△293	△316
自己株式の処分による収入	26	678
配当金の支払額	△216	△242
その他	—	26
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,673	995
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△224	2,173
現金及び現金同等物の期首残高	7,617	5,083
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,392	7,257

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。